



甲南第一小学校だより

第一っ子



令和6年9月2日

(2024年度)

第5号

甲南第一小学校

「ふるさと」を大切にする教育の推進

長い休みが明け、いよいよ前期まとめの月となりました。子どもたちは4月から、6年生が示してくれた、第一っ子スローガン『毎日が挑戦！ 優しさ忘れず 笑顔でつながる第一っ子』のもと、「挑戦」すること、「優しく」すること、「笑顔」でつながることを大切にしながら、全校のみんなが楽しく幸せに過ごすことができるように学校生活を送ってきました。これまでの自分の学習や生活をしっかり振り返り、後期につなげていってほしいと思います。

さて、今年も暑さ厳しい夏休みでしたが、お休み中いかがお過ごしだったでしょうか？外出や旅行、里帰り、お祭りや地域の行事等、きっとそれぞれの休みをそれぞれに楽しく過ごされたことと思います。熱中症や感染症、地震等、心配事の多い休みでもありましたが、そんな中でも子どもたちにとっては、家の人とゆったり過ごしたり、地域の自然や生き物とじっくり触れ合ったりしながら、自分の「ふるさと」を見つめるよい休み（機会）となったのではないかと思います。

少し話は変わりますが、「ふるさと」を漢字で書くと「故郷」「故里」「古里」の三つで表すことができるのは皆さんもご存知のことと思います。最初の「故郷」が一般的によく使われる漢字ですが、心のよりどころとなる生まれ育った土地のことを意味し、二つ目の「故里」は、かつて住んでいた土地のことを意味します。三つ目の「古里」は、完全に離れてしまった生まれ育った土地のことを意味しているのだそうです。同じように「ふるさと」と読むのですが、微妙な意味の違いがあり、それが日本語を使う時の難しい所でもあり、そして、それは日本語の持つ奥深さなのです。

また、「故郷」は「ふるさと」以外に「こきょう」と読みだります。「こきょう」と読む時には、「生まれ育った土地」という限定的な意味として使われることが多いのだとか。

「ふるさと」の表し方や読み方がどうであれ、第一っ子の「心のよりどころ」となる「ふるさと」は、甲南のこの地域です。ずっとこれからもどこにいても大切にしてほしいと願っています。そんな「ふるさと」を大切にする子どもを育成するために、本校では、「地域学習」をカリキュラムの中に位置付けて進めています。自分の「ふるさと」のことをよく知り、身近に感じながら、自分の「ふるさと」の様々な問題に目を向けたり、自分のこれからの生き方につなげたりしてほしいと願っているからです。具体的には、各教科の学習内容にあわせて、自分の育ってきた「ふるさと」とリンクさせながら、地域の様子や歴史、人とのつながり、伝統や文化等について学び、そして、この「ふるさと」をつくってきた先人の思いや苦勞にも思いを馳せていきます。

そんな「地域学習」を本校の教育活動にしっかりと位置付けながら、自分の「ふるさと」を大切にする教育を今後も継続して進めていきたいと思っています。これからも保護者や地域の皆さまにはいろいろな面でご協力をお願いすることがあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

甲南第一小学校 校長 松山 辰也



体育大会

10月4日(金)

今年度の体育大会は「平日午前中開催」といたします。種目数を精選し、12時頃に閉会式を行います。その後、子どもたちは給食を食べ、5時間目終了後、14時30分に一斉下校します。また、保護者観覧席も地区別テントは設けず、前年度と同じく観覧エリアからのご声援となります。当日も暑くなるのが予想されますので、熱中症対策をしっかりといただき、ご観覧くださいませようよろしくお願いいたします。



感染予防と熱中症対策

今後も様々な感染症の広がりが心配されます。また、昨年にも増して暑さ厳しい日が続いています。熱中症にも気を付けなければなりません。引き続き、基本的な感染防止対策を怠らず、休息や水分補給に気を付けながら、日々の健康観察や健康管理に努めていきたいと思います。

災害時への備え

お盆の頃から、大きな地震の発生が心配されています。いざという時のために、ご家庭でも災害時への備えをしっかりとお願いいたします。

ひとみ輝く第一っ子 よく学び・心豊かに・健やかに